

【超初心者講座】第1回『右手のストロークに慣れること』

練習フレーズ① 4分音符のブラッシング

Musical notation for exercise 1: 4/4 time signature, 4 measures of quarter notes with guitar TAB below. The TAB shows a consistent chord shape across all strings. Dynamics include 'mf'.

練習フレーズ② 8分音のブラッシング

Musical notation for exercise 2: 4/4 time signature, 4 measures of eighth notes with guitar TAB below. The TAB shows a consistent chord shape across all strings. Dynamics include 'mf'.

この2つのフレーズを練習する時に重要なポイントは、

- ・右手を大きく振ること
- ・左手でちゃんと弦に触って、しっかりとミュートすること(音程を出さないこと)

この二つです。

本当にギターを始めて、最初の最初、ストロークに慣れていない時は、「慣れてきたな」と感じるまでは、メトロノームを使わなくてもOK。(もちろん使ってもOKです)

ですが、ストロークに慣れてきたと感じたら、必ずメトロノームを使ってください。

早いうちに、リズム感を鍛える練習を始めておきましょう。

テンポは各自の自由で大丈夫ですが、大体スタートは 60～80 くらいから。

目標としては 120～130 くらいのテンポを、安定してストローク出来る様ならば、第一段階は終了です。

もちろん、もっと早いテンポを練習してもいいんですが、130 前後のストロークが出来れば、あとは曲をコピーしているだけで、大方のテンポには対応できるようになりますので。

動画の方でも解説していますが、メトロノームを使うときは、演奏する時間を決めたいほうが良いです。

大体、練習としては 1 分～3 分くらいタイマーでセットして、その間は集中して取り組みます。

現実的な曲の長さを考えるならば、3～5 分間の練習などもやってみましょう。

練習フレーズ③ コード進行をつけてのストローク(4 分音符)

The image shows a musical score for a 4-measure phrase. At the top, four chord diagrams are provided: Asus2, Am9, CM7, and G6/B. Below these, the score is written on a grand staff. The first measure is Asus2 (5), the second is Am9 (6), the third is CM7 (7), and the fourth is G6/B (5). The dynamics are marked as *mf*. The TAB part shows the following fret numbers for each string (T, A, B):

Measure	1	2	3	4
T	0	0	0	0
A	0	0	0	0
B	2	2	2	2
B	0	0	0	0

練習フレーズ④ コード進行をつけてのストローク(8分音符)

The image shows a guitar exercise with four measures. Each measure is associated with a specific chord: Asus2, Am9, CM7, and G6/B. The music is written in a treble clef with a key signature of one flat (Bb). The rhythm is eighth notes. The first measure is marked with a '5' and the second with a '6'. The tablature below the staff shows the fretting for the T, A, and B strings.

この2つのフレーズで気をつけることは、右手を大きく振ることや、ミュートのしっかりすること(6弦)は、前のモノと同じですね。

今度は弦の音を出しているなので、右手ストロークの振りが甘かったり、ピックが強く当たりすぎたりすると、その影響が音に出ます。

”どうストロークしたら綺麗な音が出るのか？”

そういった事を意識しながら練習しましょう。

では、今回は以上です。

ありがとうございました！

大沼